

舞鶴市 認知症予防講演会の報告

京都府介護予防担当大倉係長のお声がかりで、3月28日舞鶴市の中丹東保健所にお伺いしました。

50人の予定が、日が近づくと倍に増えたそうです。高林・松島・原口3人の講演に続き、スリーA方式の「認知症予防教室」を体験していただきました。脳活性化をうながすゲームと、「優しさのシャワー」が、どのように脳に働きかけるかということ、楽しい笑いの中で解説させていただきました。

大勢の方が頷いたり、はじめは難しいお顔の男性も、ゲームが進むにつれていつの間にか皆さんと一緒に非日常の屈託のない笑いを満喫してくださったようです。(高林)

与謝野町 認知症予防講演会の報告

与謝野町保健課からのご依頼を受けて、18年度に引き続き、今春も4月18日(水)野田川、20日(金)は岩滝、そして25日(水)は加悦と3地域で開催された上記講演会にお伺いしました。「認知症予防講演会」と言うテーマでの企画でしたが、京都府介護保険推進室から、それぞれの会場で「認知症サポーター養成事業」として実施するようにとの要請があったとのことで、3日間とも当日プログラムの前半の時間で「認知症サポーター養成講座」の教材をもとに松島がお話をさせていただき、後半は同行の原口、平山、福井と共に認知症予防教室の脳活性化訓練の楽しいゲームとそのかわり方を体験していただきました。参加者の皆様ともども楽しいひと時を過ごしました。

18日は16名、20日は23名、25日は24名という参加状況でしたが、「認知症になっても安心して住みなれた街で生活が継続できるように、参加者の皆様が認知症サポーターとしてお互いに支援し合える地域づくりを目指したいですね」との前置きのあと、認知症を理解するための基礎知識、(症状について、早期診断の必要性と認知症の予防の大切さ、認知症の人と接するときの心がまえなど)、50分ほどでしたが皆様が我がことのようにうなづきながら傾聴してくださいました。(松島)

木津と八幡、 第2期教室終る

昨年11月14日から4月3日まで20回の木津教室が終わりました。デイサービスに移った方、ご本人の怪我で教室を辞められた等、参加者が減りましたが、昨年発刊した冊子や新聞(冊子紹介記事)のご縁、木津川市の保健師さんの紹介などもあり、おかげさまでOB会につながることができました。

長岡京市、京都市、枚方市、宇治田原町、加茂町、など付き添いご家族同士が、和やかに話さる様子はお手伝いする私達には元気の素でした。

八幡市の第2期予防教室は、特定高齢者が対象で15回を2月16日に終わり、第3期が4月13日から始まっています。

2期の教室は、入院したKさんに、皆でお見舞いの寄せ書きはがきをだすなど、和やかでした。皆勤賞がお二人、他は10回以上がほとんどでした。教室が終わってしまうことをおし、自主的に世話役を3人が名乗り出てくださいました。すごい！うれしい！

参加男性の感想

「はじめは正直言って不満があった。自分は自主的に行動したいと思うし、ここでリードされてすることにどんなもんだらうという思いがあった。しかし2回3回参加する毎にこんな感じがよいのだと思うようになった。日常生活の中の動きがよくなったし、ここに来るのがたのしくなった、それとメンバーが良かった。ありがとう！」

認知症予防教室が定着して彼のように生活のリズムが改善されると体感する、そんな話をあちこちで聞きたいと思えます。(原口)

スリーA
あかるく
あたまをつかって
あきらめない

認知症予防教室2回目を終えて

11月1日から始まった友愛ホーム2回目の予防教室について2007. 2. 1のちよネット通信に途中報告を載せていただきましたが、皆様のおかげで3月21日無事20回を終えることができました。

今回の出席率は最後まで大変よくて1人の方だけがサークルの新年会・受診・風邪で3回休まれましたが他の方は全回出席でした。1回目と同じスタッフが3人いましたが、2回目でお仲間さんが和気あいあいだったので「今回は20回が早く終わった様に思う」という感想でした。

17年度・18年度は認知症予防教室を友愛ホームの独自活動として行ってきましたが、19年度は城陽市が「もの忘れ予防教室」を実施することとなり、友愛ホームは講師として関わることになりました。

期間は6月6日～10月24日(20回)・時間は9時30分～11時30分・場所は城陽市福祉センター・対象者は65歳以上の市民12名(要介護認定をうけていない人)です。

いままでのおなかまさんは要介護認定をうけている人でしたので、城陽市が対象者とする要介護認定をうけていない人で、どんなお仲間さんにお会いできるのか楽しみです。

(NPO友愛ホーム 大出美津子)



事業報告 (平成18年4月1日から19年3月31日まで)

認知症予防の啓発広報

- ・ブース、ポスター展示などや・機関紙発行・冊子発行・記者発表
- ・ラジオ取材・雑誌取材を受けました。

自治体や福祉関連事業者へ 認知症予防教室開催の提言

デイサービスセンターで、ほぼ毎日行われているレクリエーションにスリーA方式の脳活性化ゲームを加味していただくように訪問助言いたしました。

- ・合計8ヶ所

講演会

ご依頼を受けた方々の希望にあわせながら、スリーA方式の有効性の解説を前半に置き、後半ではスリーA予防教室と同じ脳活性化リハビリのゲームを講師と参加者と一緒に行って、どのように感じるかを体験していただきました。単なる講演会形式ではないので、とても理解しやすいと好評を得ています。

- ・合計31回講演

教室派遣

各教室のリーダー役が自信をもって教室運営できるように、毎週1名ないし2名を派遣してリーダーや参加者と一緒にゲームに溶け込み、必要のつど、アドバイスなどをいたしました。

- ・合計66回

ミニミニ教室

ミニ講演会と内容は同じですが、時間制限があって1時間以内などの短時間の場合とか、参加者の人数が数人とか10人以下で、脳活性化ゲームに主体を置く場合に「ミニミニ教室」の名をつけて区別しています。

- ・合計17回

新役員の紹介

総会で承認された新理事

村岡 洋子

◆プロフィール

京都短期大学・名誉教授、介護福祉士養成に尽力、実母の認知症遠距離通勤介護体験あり、増田先生との関係も深く、スリーA講演会を福知山市において独自開催するなど、認知症予防運動に関しては、10年来の支援者。

中野 正子

◆プロフィール

認知症の人と家族の会京都支部 元世話人
宇治市介護者家族の会 前代表補佐
看護師



第3回通常総会

日時：平成19年5月19日(土)
場所：宇治市「ゆめりあうじ」

●第一部 総会

議事

- 第1号議案
平成18年度事業報告
- 第2号議案
平成18年度決算報告・監査報告
- 第3号議案
新役員紹介
- 第4号議案
平成19年度事業計画案
- 第5号議案
平成19年度予算案

●第二部 ミニ講演とスリーA方式 脳活性化訓練の実際

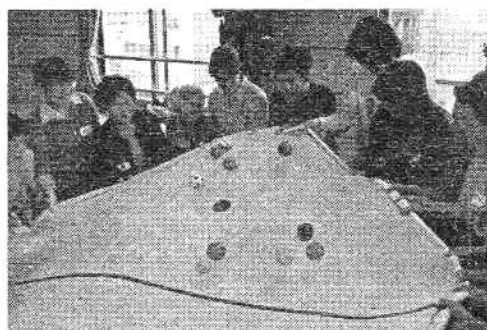
高林実結樹

「スリーAとは」

福井恵子

「スリーA方式で在宅介護」

原口熱美リードで、脳活性化訓練の種目のうちの「シーツ玉入れ」に興じているところ



平成19年度 事業計画

- 啓発のための広報(機関紙・ホームページ・チラシ配布)を継続する。
- 提言活動を活発にし、本格的な予防教室にならなくても協力する。
 - ・デイサービスセンターや老人会等にもスリーA増田方式を活用するように、呼びかける。
- 他教室への応援は、必要に応じて講師派遣を行う。その他、京都府内に限らず教室開設団体には積極的に出向けるよう検討する。
- 講演会の自主開催を実施する。
- 基盤整備の充実として
 - ・会員増強のため「入会のご案内」やリーフレットを配布する。
 - ・非常勤専従事務員の設置を検討する。
 - ・社会的信用度を高めるため、又寄付金が税金の控除対象として、幅広く多くの人々からの支援を受けられるよう、認定NPO法人化の手続きに取り組む。
- 木津教室のOB会
 - 月に1回のOB会は、第2期の修了者を加えて当面3回実施する。

平成19年度 収支予算書

収入の部		単位:円		
科目	19年度予算額	18年度予算額	差引	
年会費	700,000	782,000	△ 82,000	
入金金	20,000	20,000	0	
小計	720,000	802,000	△ 82,000	
事業収入				
認知症予防の啓発・広報	2,000	1,000	1,000	
教室開催の提言	1,000	1,000	0	
講師派遣謝礼	600,000	451,000	149,000	
講演会の開催	15,000	40,000	△ 25,000	
その他必要な事業	1,000	1,000	0	
小計	619,000	494,000	125,000	
寄付金	300,000	1,369,000	△ 1,069,000	
助成金	0	0	0	
預金利息	0	0	0	
当期収入合計(A)	1,639,000	2,665,000	△ 1,026,000	
前期より繰越金	569,142	253,120	316,022	
収入合計(B)	2,208,142	2,918,120	△ 709,978	

支出の部		単位:円		
科目	19年度予算額	18年度予算額	差引	
事業支出				
認知症予防の啓発・広報	470,000	610,000	△ 140,000	
教室開催提言	200,000	160,000	40,000	
講師派遣	284,000	1,001,000	△ 717,000	
講演会の開催	100,000	100,000	0	
その他必要な事業	50,000	50,000	0	
小計	1,104,000	1,921,000	△ 817,000	
管理費				
人件費	260,000	374,000	△ 114,000	
通信運搬交通費	200,000	300,000	△ 100,000	
事務消耗品費	75,000	70,000	5,000	
小計	535,000	744,000	△ 209,000	
当期支出合計(C)	1,639,000	2,665,000	△ 1,026,000	
当期収支差額(A-C)	0	0	0	
支出合計(B-C)	569,142	253,120	316,022	

平成18年度 収支決算書

収入の部		単位:円		
科目	18年度決算額	当初予算	差額	
年会費	638,800	782,000	△ 143,200	
入金金	21,000	20,000	1,000	
小計	659,800	802,000	△ 142,200	
事業収入				
認知症予防の啓発・広報	971,000	1,000	970,000	
教室開催の提言	0	1,000	△ 1,000	
講師派遣謝礼	1,309,404	451,000	588,404	
講演会の開催	53,900	40,000	13,900	
その他必要な事業	0	1,000	△ 1,000	
小計	2,334,304	494,000	1,840,304	
寄付金収入	294,399	1,369,000	△ 1,074,601	
助成金収入	200,000	0	200,000	
預金利息	185	0	185	
当期収入合計(A)	3,488,688	2,665,000	823,688	
前期より繰越金	253,120	253,120	0	
収入合計(B)	3,741,808	2,918,120	823,688	

支出の部		単位:円		
科目	18年度決算額	当初予算	差額	
事業費				
認知症予防の啓発・広報	1,151,217	610,000	541,217	
教室開催の提言	35,460	160,000	△ 124,540	
講師派遣	1,184,364	1,001,000	183,364	
講演会の開催	114,184	100,000	14,184	
その他必要な事業	0	50,000	△ 50,000	
小計	2,485,225	1,921,000	564,225	
管理費				
人件費	373,750	374,000	△ 250	
通信運搬交通費	268,879	300,000	△ 31,121	
事務消耗品費	44,812	70,000	△ 25,188	
小計	687,441	744,000	△ 56,559	
当期支出合計(C)	3,172,666	2,665,000	507,666	
当期収支差額(A-C)	316,022	0	316,022	
合計(B-C)	569,142	253,120	316,022	

平成18年5月19日(土)総会において上記の通り、平成18年度の決算報告をいたします。

本会計の監査を行い、正確且つ適正であることを認めます。

会計 原口 熱
会計監査 松島 藤 児

活動報告 (07年2月1日~07年5月31日)

教室

京都府八幡市/八寿園/毎金曜日/2月16日終了
 京都府木津川市/木津教室毎火曜日/4月3日終了
 京都府城陽市/友愛ホーム支援/毎水曜日/3月21日終了
 京都府宇治市/大久保サティカルチャー/4月~第1&3月曜日
 3月 17日 宇治市いきいき教室/西小倉福祉センター
 19日 大久保カルチャー体験教室
 5月 1日 木津OB会

講演

2月 3日 滋賀県彦根市/下西川老人会
 22日 兵庫県川西市/明峰コミュニティ
 24日 兵庫県尼崎市/大庄南包括支援センター
 3月 2~23日 連続4回/京都府城陽市/GHまごころ城陽主催
 3日 京都府城陽市/萌木の村在介
 14日 大阪市東住吉区/NPO法人ボラン
 ティア労力ネットワーク主催
 24日 京都府八幡市/
 男山松里・グリーンクラブ
 28日 京都府舞鶴市/
 京都府中丹東保健所主催
 29日 大阪市東淀川区/社会福祉協議会主催
 4月 18日 京都府与謝郡与謝野町野田川

演

講演

4月 20日 京都府与謝郡与謝野町岩滝
 25日 京都府与謝郡与謝野町加悦
 27日 京都府宇治市/まごころ大久保
 5月 12日 京都府宇治市/まごころ大久保
 17日 京都府城陽市/ほうゆう病院在介・第1回
 18日 京都府宇治市/まごころ大久保
 19日 第3回通常総会ゆめりあ大会議室
 23日 京都府宇治市/まごころ大久保
 29日 京都府城陽市/ほうゆう病院在介・第2回

広報

2月 21~ 京都府久御山町/ジャスコ久御山で/ポスター
 27日 展示
 4月 4~8日 京都府庁ポスター展示

提言

4月 12日 京都市北区/原谷こぶしの里
 5月 22日 京都府八幡市/フルライフ研究所

*在介=在宅介護支援センター *GH=グループホーム

事務局からのご案内

会員募集

認知症高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、認知症予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、日々活動を続けています。

趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支援してください。

詳しくは事務所へお問い合わせください。

(1)正会員 — 入会金 2,000円
 年会費 6,000円

(2)賛助会員

個人 入会金 1,000円
 年会費 (1口) 2,400円 1口以上
 団体 入会金 3,000円
 年会費 (1口) 24,000円 1口以上

ちよネット通信 購読者募集

年3回定期発行 送料込み年500円。お申し込みお待ちしております。
 (会員には無料送付)

母への関わり ゆっくり

母は母なりに考え考えながら、自分のペースでゆっくりと行動しているので、ひとつひとつに時間がかかる。例えば、買い物に行く準備をみていると、まず、財布にお金が入っているか確かめ、買い物袋に入れる。トイレ→財布→髪をとかす→財布→着替え→財布...1時間近くかかるが、一緒に行くことが多くなった近頃は、財布を買い物袋に入れたときに、預かる。財布財布...と捜し始めたら、袋に入っているよと声をかける。それでも何度も確かめる。歩きながらもマーケットに着いてからも「お財布入れたかしら?」立ち止まって、必ず自分で確かめてもらう。辛抱!辛抱!(福井)

石の上にも3年! 夢が叶った!

1ページの記事にあるように、NPO友愛ホーム様と当法人の2年間の努力の結果、まさに私たちの願っていた形で、八幡と城陽の行政が動いてくださって、スリーA増田方式による認知症予防教室が地域に根付きました。法人化して4年目、夢は正夢。どの地域もこのような形になることを目指して進みます。皆様のご支援のお陰です。(高林)

今後の予定

教室&教室支援

・京都府宇治市/大久保カルチャー/第1,3月曜日
 ・京都府木津川市/木津OB会/6月 7月第1火曜日
 ・京都府城陽市/もの忘れ予防教室/
 6月6日~10月24日連続20回

講演

6月 6日 大阪府吹田市/市民講座
 7日 京都府城陽市/梅林園在介・連続2回
 9日 京都府宇治市/まごころ大久保
 14日 京都府城陽市/梅林園在介・2回目
 21日 NPOきょうと介護保険にかかわる会
 26日 京都府八幡市/フルライフ研究所
 7月 4日 京都府城陽市/在介ひだまり 第1回
 18日 京都府城陽市/在介ひだまり 第2回
 8月 23日~ 毎木曜日4連続 大阪府交野市

広報

8月 4~5日 京都府人権課パネル展示

*在介=在宅介護支援センター

編集後記

法人が誕生して3回目の総会を開催することができました。なにぶんにも素人集団ゆえの足取りのおぼつかなさはあったものの、認知症の進行を放置したくないと言う思いを共有した仲間たちと、スリーA教室の精神と技の伝授を求めてくださった多くの支援者の方々のおかげで歩み続けられました。9号をお届けできることを感謝しております。(松島慈児)